

2年 美術ワークシート No.2 『北斎の動く波』

この課題は、海または川などの水の流れに注目することがポイントです。水は激しく波打つこともあれば、静かにゆらゆらと揺れることもあります。

ワークシートでは、江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の波の表現にピックアップして波の描き方を紹介しています。みなさんも水の流れを観察し、動きのある波をいくつかスケッチしてみましょう。

◆葛飾北斎の浮世絵について



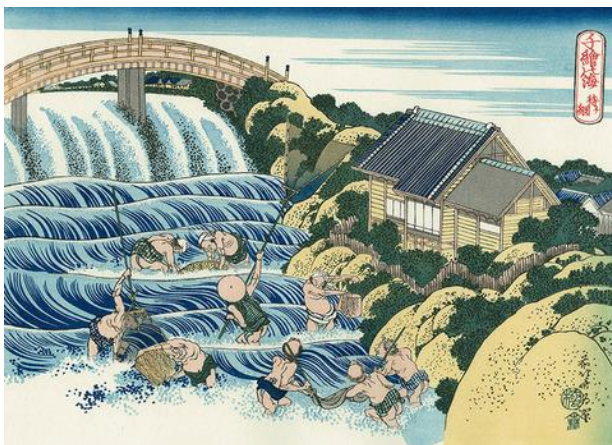
江戸時代に盛んに作られた浮世絵版画は、大胆な構図、深みのある色彩が特徴です。

特に、葛飾北斎の「富嶽三十六景」は有名で、富士山をさまざまな場所から描いた風景が描かれたシリーズの作品です。

大きくせり上がる荒々しい波は「動」、遠くに見える富士山は「静」を表し、遠近の対比も相まって画面に奥行きや動きを与えています。



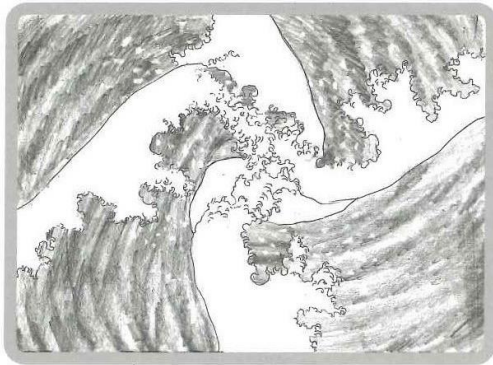
◆北斎は他にもさまざまな波を描いています。



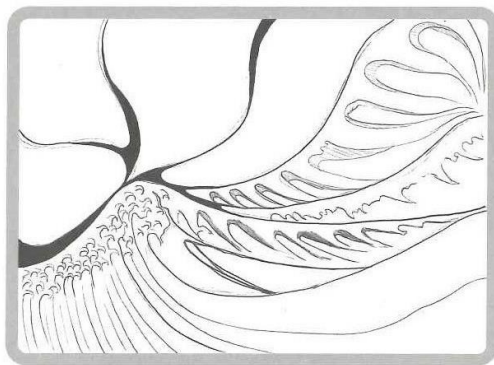
◆日本に古くからある文様にも波の表現が見られます。



◆波の動きや流れをスケッチしてみよう。



うず巻く水にして



模様のようにして

